

平成 28 年 9 月 1 2 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢
(コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03 - 6225 - 2207)

ゼボラリゾートが人気女性旅行ブログサイトにて紹介されました。

当社グループが保有する高級リゾートであるゼボラリゾートが女性旅行ブログサイト「The Travelettes」にて紹介されました。「The Travelettes」は 2009 年 8 月に開始され、女性限定の旅行愛好家、記者、写真家からなるグループにより旅行記を掲載、宿泊ホテルやレストランなど紹介をしております。若い女性をターゲットに旅行の楽しさを伝え、旅行を薦めることを目的としている人気ブログサイトです。

「The Travelettes」ホームページ URL : <http://www.travelettes.net/>
掲載ページ URL : <http://www.travelettes.net/discovering-ko-phi-phis-best-kept-secret/>

以下、掲載ページ翻訳になります。

ピピ島の最高の秘密を発見

2016 年 9 月 6 日

「時に人生は驚きに満ちている」と言われるが、旅行している時がまさにこれに該当する。私の今回のタイ滞在は 2 週間、ランタ島からピピ島に向かうフェリーに乗り込んだ。今回私が宿泊し、紹介するのはピピ島にあるゼボラリゾートだ。出発前、ネットで事前に何枚かの写真を確認したが、その際、気に留めたのはプールの大きさだった。非常に小さいと感じたからだ。ただもう 1 点気になったのは、ゼボラがピピ島で唯一のファイブスターグリーンダイビングリゾートであることで期待に胸を躍らせていた。

驚きは島に到着した瞬間に起こった。ランタ島からのフェリーがピピ島に到着した時、「ZEAVOLA」のサインボードを持った人を確認し、ゼボラリゾートまで連れて行ってくれる運転手だと思った。違っていた！彼はボートに誘導し、移るよう指示した。ボートの脇には「ZEAVOLA」と書かれていた。驚いたことに、全ての宿泊客はリゾートまで車で行くのではなく、ボートでそのままリゾートに到着するのだ。もちろん私は退屈なタクシーよりも、そのボートでの移動がすぐに気に入った。

リゾートに到着した際には、宿泊客が日焼けやのんびり過ごすことを楽しむことができる美しく、ワイドなビーチに感銘を受けた。ボートを降りると 2 人のスタッフがタオルと飲み物を提供し、我々の到着を歓迎してくれた。島到着から 20 分後、チェックインが終わり部屋に案内された。そこで次の驚きがあった。

部屋はそれぞれが木と草と藁で作られた独立したコテージとなっている。各コテージには戸街のリビング

ルームとバスルームがついている。モルディブ滞在時の経験から野外シャワーで始まる一日がどんなに素晴らしいものか分かっているのだが、まさにこの設備は完璧なものだった。

ここはこれから3泊する仮住まいであるが、以前からここに住んでいたかのような気すら感じた。周りを見渡すと、木々が青々と茂り、聞こえてくる音は鳥のさえずりとすぐ近くのビーチから聞こえるやさしい波の音だけだった。次の日、私は鶏のように早起きし、木々の下で非常に長いシャワーを浴び、裸足でフロアを歩いた。まるで物語に出てくる王様のような朝食をとり、雨が降る朝を祝った。お昼近くに激しいモンスーンからやさしい雨に変わった。私は水着に着替え海のお風呂に入った。これは温暖気候と雨が揃った時にする私のお気に入りだ。

Green Pearls のウェブサイトには“ここ(ゼボラ)の贅沢は自然がそのまま残されていることだ”と書かれていたが全くその通りだった。ゼボラは、宿泊者から装飾されたキラキラしたものを一切剥しとり、自然、人間、平穏といった本物を宿泊者に提供する。ロンドンで開催されたワールドブティックホテルアワードで世界の地球にやさしい(環境的に持続可能な)ホテルに投票されたのも納得できる。

環境にやさしく持続可能な観光は私にとって最も重要な事項になってきた。なぜならモンスーンシーズン中の旅行では、海の中に大量のゴミが溢れ、そのほとんどがビーチに流れ出されるのを見てきたからだ。ゼボラのスタッフは毎日ビーチを掃除するが、プーケットやランタ島など多くのビーチでプラスチック袋、ビール缶や他の非分解性のゴミが他人事のようにそのままに放置されているのを見てきた。

ゼボラは Green Pearls のメンバーで長期に渡り環境への影響を最小限に留めている。他から離れた場所にあるこのビーチで最も大きい投資は電気でそのほとんどは水力によるものを使用しており、環境にやさしくない電気ジェネレータの使用は控えている。おそらくこのリゾートにおいて環境への配慮、対策から発生した最も面白い効果としてはリゾートが2,3匹の蛇の住処となっておりネズミがいない状態を保っていることだろう。我々は滞在時にその蛇を見ることはできなかったが、私の子供は敷地内を自由に歩き回る鶏を非常に気に入ったようだった。朝食時にはその鶏が木に登って遊んでいて、非常に良いシャッターチャンスであった。

仕事人間の私にとっては正気ではないように思えるが、ビーチやプールで遊んでいない時は単純にリラックスした。朝のマッサージ、午後の長めの昼寝を楽しんだ。ビーチでの散策、貝殻集め、他の行く場所もないので早めに夕食を開始し、数時間に渡って楽しんだ。8年勤務しているこのリゾートの総支配人によるとこのリゾートの宿泊者の多くは現実逃避を楽しみに来ているとのことなので納得した。都会の渋滞音、スモッグ、明るい光が一切ない自然回帰の経験、まさにここは昔のままの環境、温かい雰囲気、おいしい料理が揃った場所である。

私はダイビングやシュノーケリングなどのアクティビティはあまり行わなかった。ただ世界中の人がこのピピ島に、この環境にやさしいリゾートに宿泊しワールドクラスの環境でダイビングを楽しむ。また、ダイバーでなくても多くのアクティビティを楽しむことができる。ビーチには多くの水上タクシーが並んでおり、ダイビングやシュノーケリングだけではなく、マーケット、ショッピング、近隣の国立公園でのハイキングなどに連れて行ってくれる。

この場所は、できり限りの最高の方法で、一日を一週間のように思わせてくれる不思議なマジックが存在する。ゼボラは、子供の頃に夢見たヒッピーな生活とファイブスターの心地よさなど全てが得られる場所である。

著者 : Katja Hentschel (The travelettes.net 創業者)

以上